

令和 6 年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立桃園幼稚園

令和 7 年 2 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本園の特色の一つである広い園庭で、子どもたちは日常的に体を動かして活動している。一人一人がゆとりをもって遊ぶことができる反面、人との距離の取り方や、狭い場所での身のこなし方などで危ない場面もあり、危機意識が少し低い傾向にある。また、感染症対策として家で過ごす機会が多かったことから、体を動かすことや姿勢の保持が持続できないといった体幹の弱さが感じられる。日々の遊びの中で友達と楽しく体を動かす機会を意図的につくり、様々な動きを通して体力や運動能力の基礎、安全への意識などが身に付くように働きかけていくことが課題である。
- 前年度、健康な生活についての保健指導や保護者啓発を継続したことで、家庭でも基本的な生活習慣を大切にしようとする姿勢が伺われた。しかし、食に対する興味が薄かったり、生活リズムが崩れがちであったりする様子もあるため、健康な生活を子どもも保護者も意識できるような取組を工夫していくことが必要である。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を80%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を70%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】**学校園の年度目標**

- 令和6年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」と回答する割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】**学校園の年度目標**

- 令和6年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を80%以上にする。
- 令和6年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】**学校園の年度目標**

- 令和6年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」と回答する割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

保護者アンケートの結果は、各項目とも目標以上に達成することができた。

今年度は、地域や諸団体、近隣小中学校と連携を取りながら、現状にあった内容や交流のもち方を考えて取り組んだ。交流を通して幼児教育の充実を図ることができた。

遊びの中での幼児の学びや育ちを保護者と共有する手段に、ホームページの投稿やドキュメンテーションの作成を行い、園内外に向けて教育内容の発信を細やかにすることで、幼稚園の教育内容が十分に周知され、保護者の幼稚園への安心感へとつながっていると感じる。

アンケート結果や教育成果から、今年度の項目や重点の置き方が、園や幼児の実態に即し、適切であったと評価できる。引き続き園運営に対して教職員の共通理解を深め、一人一人の幼児がさらに充実した園生活を送ることができるよう、教育内容を工夫していきたい。

大阪市立桃園幼稚園 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 学校の年度目標 ○令和 6 年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 安全に過ごそうとする気持ちを育てる。 ----- 指標 ・視覚教材を使った安全教育を、学期に 1 回実施する。 ・保護者に、学期に 1 回、園で実施した安全に関する取組を啓発し、家庭との連携を図る。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

○保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」と回答する割合は 86%であった。

【取組内容】について**取組内容①**

- ・ 6 月、地域散歩の前に、園全体で YouTube の動画を利用した安全指導を行った。映像を観ることでより集中しやすく、またクイズ形式にすることでより楽しむことができ、学ぶ姿につながった。
- ・ 12 月、5 歳児が iPad を利用し、遊具の使い方を実演した動画を 4 歳児に見せた。5 歳児は安全な遊び方を 4 歳児にどうしたら伝えられるのかを考えたことで、より安全に対する意識が高まった。また、4 歳児も 5 歳児から教わったことで、約束を守ろうとする姿が見られ、相乗効果を得られた。
- ・ 2 月、警備会社の DVD を利用した防犯指導を行う。視聴後、指導した内容を話すと共に指導内容のリーフレットを配布する。
- ・ 3 月、3 学期終業式に大型絵本を使った交通安全指導を実施する。

【安全指導の内容】

	幼児への安全指導の内容	回数	視覚物
1 学期	交通安全指導 (信号、道路標識、横断歩道、車の合図) 防犯指導	2 回	YouTube の動画 大型絵本
2 学期	園庭の遊具の使い方、防犯指導	2 回	iPad の動画 絵本
3 学期	防犯指導、交通安全指導	2 回	DVD、大型絵本

- ・計画的に避難訓練を実施し、降園時など機会を捉えて保護者に様子を伝えた。
- ・7月、南警察の夏の交通安全防止運動に参加した。保護者や地域の方々と一緒に交通ルールについての話を聞き、園庭では実際に横断歩道を渡る実技に参加した。安全指導後、保護者から幼児が標識の話を聞くようになったり、標識を意識する姿をよく見るようになったりしたと、家庭での様子を聞くことが多くなった。様々な安全指導を通して、幼稚園で学んだことを家庭でも意識する姿につながっていると感じる。
- ・令和6年度「交通安全功労者」優良学校として表彰された。降園時に表彰状や盾を展示し、保護者啓発を行ったことで、安全に対する意識がより高まるようにした。
- ・12月、「歳末ミナミ地域・交通安全大会」に参加し、ヘルメットを被ることの大切さを学んだ。その後、園庭で自転車に乗る時に、幼児から「自転車乗る時はヘルメット被らないとあかん」という声があがった。安全に対する意識が高まっていると感じている。
- ・1月、引き取り訓練を行った。阪神淡路大震災の話をしたり、保護者にも「コドモン」アプリからの知らせを見てから迎えに来てもらったりするなど、実際の災害を想定した訓練を行うことができた。

【保護者啓発の内容】

	保護者啓発の内容	回数
1学期	避難訓練での様子（2回）、交通安全指導（1回） 夏の交通安全防止運動（1回）、防犯指導（1回）	5回
2学期	避難訓練での様子（3回）、交通安全功労者について（1回）、 園外保育の事前指導について（電車の乗り方、交通安全指導） （2回）、ヘルメット装着についての地域交通安全大会への 参加（1回）、防犯指導（1回）	8回
3学期	避難訓練での様子（2回）、防犯指導の様子、リーフレットの 配布（1回）、交通安全指導（1回）	4回

- ・様々な保護者啓発を行ったことで、幼児の訓練の様子に関心をもったり、保護者からもヘルメットの着用の必要性を感じる話を聞いたりするなど、保護者自身の意識の変化につながりつつある。

次年度への改善点

- ・来年度もiPadなどを利用した安全指導を行うなど、指導の仕方を工夫していきたい。
- ・幼児も保護者も安全に対する意識が高まってきているので、次年度も取り組みや指導内容、啓発の仕方を工夫して、更に安全に対する意識が高まるようにしていきたい。

大阪市立桃園幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校の年度目標 ○令和6年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を80%以上にする。 ○令和6年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を80%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向5、健やかな体の育成】 幼児が興味や関心をもてるような遊びの中で、自ら体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにする。	A
指標 ・年5回以上、幼児の実態に応じた体操やダンスに取り組む。 ・年4回の保育参加で、保護者が幼児の興味や関心のある遊びを一緒にし、楽しさを共感し合えるようにする。	
取組内容② 【基本的な方向5、健やかな体の育成】 食物に興味・関心をもち、食事の大切さを知ること、自分の体を大切にしようとする気持ちをもつ。	A
指標 ・食育に関する指導の年間計画を立てる。 ・保護者に学期に1回以上、園で実践した食育に関する内容を知らせ、家庭との連携を図る。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【年度目標】について ○保護者アンケートにおける「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」という回答の割合は89%であった。 ○保護者アンケートにおける「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」という回答の割合は92%であった。 【取組内容】について 取組内容① ・1学期より、幼児が関心をもてるような体操やダンスを取り入れて、楽しんできた。体操をして体をほぐしてから好きな遊びに取り組んだり、戸外遊びの最後に、みんなで体操やダンスを楽しんだりした。 ・今年度の体操やダンスの選曲は、幼児の発達に即したものに加え、体のどの部分を使っているかを意識した。指標では、年5回以上とあるが、幼児の興味・関心を捉え、以下の表の通り、多くの曲を積み重ねることができた。

【体操やダンスの内容について】

	体操・ダンス
1 学期	てんとうむし・かけるかける・ワクワクあふれだす・ジャンジャラポーズ ザリガニチョッピン・ゴードウンジェットコースター等(6 曲以上)
2 学期	・さんぶんかん・のーのののせる・カマカマキリキリ 〈運動会に使用した曲〉 ・0h! スージー ・ともだちふえたら ・ロケットペンギン・深海牧場 ・最高到達点 ・パレード ・桃園っこメドレー ・ぼくのおひさまパワー ・おんせんはいろっか等(1 2 曲以上)
3 学期	〈生活発表会で使用した曲〉 ・金のガチョーラ・ぬきあしさしあし・のーののせる・とうえんデパート ・ねこのおいしゃさん・こままわし や! ・まえねこにゃんにゃん

- ・上記にある『桃園っこメドレー』は、1 学期から取り組んできた曲をメドレーにして、運動会のフィナーレに使用し、幼児も存分に楽しめた。
- ・生活発表会では、幼児が興味や関心を示した絵本を元に劇遊びを考え、劇遊びの内容に合うようなダンスや遊びを取り入れ、楽しく体を動かした。4 歳児、5 歳児がお互いの劇遊びを見合い、興味を持ち、生活発表会後には、お互いの劇を交代して楽しむことができた。

【これまで主に体を動かして遊んできた遊びの内容について】

	運動遊びの内容
1 学期	律動遊び、かけっこ、ボール投げ、サーキット、一輪車、泥遊び、水遊び、プール遊び、一本歯下駄など
2 学期	フラフープ、縄遊び、竹馬、バルーン、スケーター競争、リレー遊び、ドッジボール、自転車など
3 学期	マラソンごっこ、鬼ごっこ、ドッジボール、自転車、コマ回しなど

- ・年 4 回の保育参加のうち、1 学期に実施した 2 回の保育参加では、その時期に取り組んでいた体操やダンス、縄遊び、泥遊び、水遊びなどを一緒にした。幼児の遊びを体験したことで、楽しさや運動量などを実感してもらえた。
- ・運動会では、今までの遊びを海のイメージにつなげて演技や競技を考え、全園児でダンスやバルーンを楽しむことができた。
- ・運動会后、4 歳児は 5 歳児の姿に憧れの気持ちが高まり、一本歯下駄や竹馬などに取り組んだり、リレー遊びを継続して遊ぶ姿が見られたりなど、体を動かして遊ぶ意欲が高まった。
- ・中央小学校への運動会見学で、演技や 6 年のリレーを見て感動し、さらにリレー遊びや様々な遊びに夢中になる姿が見られた。
- ・体を動かして遊ぶことが楽しいと感じているので、寒い中でも体を存分に動かして鬼ごっこをする幼児が増え、4、5 歳児が自然と一緒に楽しむ姿が増えてきた。
- ・誕生会では、その時に関心をもっている遊びを取り入れてきた。

【誕生会で行った遊びについて】

月	誕生会での遊び
4・5・6 月	縄遊び(回す、丸くして入る・出る、へビにして跳ぶ、くぐる)
7・8 月	フラフープ(回す、転がす、入って遊ぶ、跳ぶなど)
9・10・11 月	ミニバルーン(揺らす、波、山、中に入る、曲に合わせるなど)
12・1 月	風船遊び(つく、挟んで跳ぶ、風船運びリレーなど)
2・3 月	「うえへまいます」の劇遊びごっこ(屋上サーカス)

- ・誕生会に参加した保護者も一緒に活動し、「バスに乗って」の触れ合いダンスもして、遊びながら体を使って遊ぶことができた。

取組内容②

- ・食育の年間計画を立て、実施した。(実施内容と評価については別紙1に記載)
- ・給食事業を通して季節の旬の食べ物を味わい、いろいろな食材に触れる機会があった。保健指導で食材の栄養について実施し、継続して知らせたことで、興味をもち、給食時に自ら進んでおかわりをしたり、苦手が食べ物にも挑戦したりする姿が見られている。「何でも食べてみよう」「元気になろう」という意欲が高まっていることが嬉しい。特に2学期以降、全体的に給食の喫食量が増えた。体を動かし、運動量も増えたことが、美味しく食事することにもつながっていると考えられる。
- ・いろいろな食物に興味・関心がもてるように、園庭で野菜を育てて収穫したり、園庭に実った果物を収穫したりしたことも、食への関心につながった。(別紙2参照)
- ・12月には、区の4歳児訪問事業で、保健師より絵本『たべものをたべたら』を用いて保健指導を実施していただいた。視覚教材を用いて消化や排泄の様子を知らせてもらい、よく噛んで食べることや元気な便を出そうとする気持ちをもつことにつながった。
- ・2学期の終業式の保護者会では、冬季休業中に家庭で取り組む「食べ物ビンゴ」の内容について、写真の視覚教材で、食材や料理の主な栄養について知らせた。家庭でおせち料理や年越しそば、個人栽培をしているカブを収穫して調理してもらい、家族と一緒に美味しく食べたりする機会となった。保護者の意識を高めることにつながった。
- ・保健だよりにより毎月、食育に関する内容を載せ、保護者啓発を行った。
[4月：朝ごはん 5月：春の旬の食材 6月：食育月間、むし歯予防(噛むこと、お菓子の種類) 7月：夏野菜、ネバネバ食材の栄養 8・9月：朝ごはん、好き嫌い攻略法 10月：運動に必要な栄養素 11月：三色栄養、噛むことの効果 12月：(歯みがき指導より)噛むこと 1月：朝ごはん 2月：寒さに負けない体づくり]
- ・家庭への啓発として、給食時の幼児の様子や献立をホームページで知らせたり、毎日の献立の見本を玄関に置いて降園時に保護者が見られるようにしたりしている。
- ・随時、園庭の果物を幼児が収穫する様子、野菜の世話をしたり収穫したりする様子をホームページに載せ、保護者啓発を行った。(掲載回数28回 2月14日現在)

次年度への改善点

- ・引き続き、幼児の実態に応じた体操やダンス、興味のある遊びを取り入れ、体を動かす楽しさを味わえる活動に取り組む。
- ・今後の保育参加でも、幼児の園での遊びを保護者も一緒に経験できるようにしていく。
- ・運動会後も引き続き様々な遊びで体を動かしているので、その様子が保護者に伝わるように発信の仕方を工夫する。
- ・引き続き幼児が食に興味・関心を持ち続けていけるように、視覚教材や掲示物等を効果的に活用する。
- ・保護者にアンケートを実施したり、聞き取ったりして食についての意識を把握し、今後も啓発を継続する。

大阪市立桃園幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 学校の年度目標 ○令和6年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」と回答する割合を70%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
<div>取組内容①【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</div> <div>幼児の活動や育ちを知らせ、家庭や地域との連携を図りながら子どもを見守る。</div> <div>指標</div> <div><div>・未就園児活動では、月に一度、日々の保育を生かした交流内容を検討し、充実を図る。</div><div>・幼児の様子を、学期に2回以上写真を使ったドキュメンテーションを用いて保護者に知らせたり、ホームページを通じて発信したりする。</div><div>・地域、近隣小・中学校、諸団体と連携し、学期に2回以上、交流や情報交換を行う。</div></div>		A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<div>【年度目標】について</div> <div>○保護者アンケートにおける「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」という回答の割合は89%であった。</div> <div>【取組内容】について</div> <div>取組内容①</div> <div><div>・未就園児を対象とした園庭開放「すくすくくらぶ」を月2回以上実施し、園児と触れ合って遊べる内容や保育活動の一部を体験してもらえるように内容を工夫した。</div><div>・幼稚園説明会を9月に実施し、幼稚園の生活や教育目標などを、分かりやすくドキュメンテーションを作成し、知らせる機会をもった。</div></div> <div>【すくすくくらぶ実施内容について】</div>		
月	回数	内 容
5	2回	・イチゴの収穫・皆で体を動かそう (体操：動物体操、ジャンジャラポーズ)
6	3回	・色水遊び、泥遊び(園庭で収穫したビワのプレゼント)、水遊び(水鉄砲・スーパーボールすくい・泥遊び)、ウォーターパークで遊ぼう
7	2回	・七夕製作(小笹のプレゼント)・ウォーターパークで遊ぼう
9	3回	・幼稚園説明会(体操：ザリガニチョッピン・かけるかける)、トランポリン、サーキット遊び、皆で体を動かそう(体操：動物体操、ジャンジャラポーズ)

10	2回	・すくすくくらぶミニ運動会（ダンス・バルーン遊びなど）、保育室での遊び（ブロック・ぬりえ・積み木 等）
11	3回	・5歳児 大阪市立幼稚園音楽会での歌披露、なかよし遊び（じゃんけんゲーム・ふれ合い体操 等）地域とのコラボ（相愛大学音楽部コンサート）
12	2回	・クリスマスのダンス（サンタが街にやってきた）、絵本読み聞かせ・キンカンの収穫
1	1回	・カブの収穫
2	2回	・劇遊び・楽器遊びの披露、雪遊び

【すくすくくらぶ参加者の声】

- 温かい雰囲気、園児がのびのびしている。
 - 園児が優しく接してくれて、嬉しかった。
 - 2階にもこんなに広いスペースがあり、水遊びを存分に経験できてすごく素敵な幼稚園だと思う。
 - 園庭が広くてこんな環境のいい幼稚園があるなんて驚いた。等
- また、入園希望の問い合わせや、子育てや発達相談など受ける機会もあり、昨年に比べて参加者は少ないが繰り返し参加してくださる方が多いと感じる。

- ・個人懇談時や毎日の降園連絡、園庭開放時を利用して、幼稚園での教育内容を伝えるものの他に、担任が作成したドキュメンテーションや、行事の写真を貼り出し「保育のねらい」「遊びを通しての育ち」「教師の教育的意図をもった働きかけ」を記入し、保護者にさらに詳しく教育内容を伝える工夫をした。

【ドキュメンテーション内容】

5歳児		4歳児	
1学期	○年長児になって （ビワの葉を使って染遊び） ○水彩画 （ビワをかいてみよう）	1学期	○はじめての幼稚園
2学期	○運動会にむけて ○つくるって楽しいな	2学期	○体を動かす遊びについて ○作品展への取り組み
3学期	○劇遊び、合奏について	3学期	○劇ごっこ、楽器遊びについて

- ・ホームページの閲覧について、アンケート結果から、毎日や週5～2回閲覧すると回答した割合が、36名中21名と在籍の半数を上回り、幼稚園教育内容へ関心が高いと感じる。また、ホームページからも幼児が楽しく過ごしている姿が伝わり、幼稚園への安心感へつながっていると感じる。

- ・地域小学校や諸団体と連携を行い、交流や情報交換を行い、保育へ役立てる。

【1学期】

中央小学校	1年生の授業参観・1年生担任との懇談会
上町中学校	学校訪問
桃園会館	ふれあい喫茶での歌声披露（6月・7月） 作品展参観
桃谷会館	桃谷公園散歩時に訪問
島之内図書館	読み聞かせに参加
南警察	セレッソ大阪とのコラボ交通安全指導（7月）

【2学期】

中央小学校	運動会見学・わいわいまつり参加
上町中学校	2年生職場体験
桃園会館	たにまちっこのコラボ・ふれあい喫茶での歌声披露
島之内図書館	読み聞かせに参加
南警察	交通安全指導（9月）・警察署訪問（表彰）・交通安全大会参加（12月）
中央区役所	種花事業・4歳児訪問事業

【3学期】

中央小学校	1年生徒の交流・研究授業への参加
桃園会館	太鼓の会・ふれあい喫茶での歌声披露・雪遊び（たにまちっこ参加）
桃園公園	大阪マラソンクリーンアップ作戦への参加

- ・その他にも、商店街への散歩、地域への収穫物の持参、中央区役所地域安全課への園外保育付き添い依頼、特別支援諸団体との情報交流会への参加、銅座幼稚園との交流 等 昨年より多くの連携校や地域との交流をもつことができた。様々な交流や連携が継続して もてたことで、地域の方にも園児の成長を感じてもらえる機会もあった。また、地域の様子 や情報を教えていただき、保育や安全教育に役立てることができた。

次年度への改善点

- ・未就園児活動への参加者が減少した。今来ている未就園児を大切にしながら、更なる情 報発信を行う。
- ・ホームページは誰でも閲覧でき、桃園幼稚園の温かい雰囲気や良さを発信できている。 今後も活用していくと共に実際に幼児の育ちも感じてもらえるように毎日の連絡時にも 活動内容を知らせていく。
- ・次年度も幼児の実態に合わせながら、交流時期、活動内容を考え、実施していきたい。

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立桃園幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

自己評価は、妥当である。

- ・今の実情に合わせながら、教職員が一丸となり小・中学校、地域とも連携をしながら教育活動を十分に展開していることが感じられる。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標

- 令和 6 年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。

自己評価は、妥当である。

- ・幼稚園の中でたくさんの事を経験できていると感じる。少人数だからこそその強みを生かし、一人一人を大切にした保育を展開してほしい。

年度目標

- 令和 6 年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。
- 令和 6 年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。

自己評価は、妥当である。

- ・幼児の現状に合わせ商店街や公園など地域に何度も出かけ、体力の向上にも繋がっている。体操なども繰り返し行っているとの事で続けて欲しい。
- ・保護者にも啓発しながら、工夫して指導していると感じる。これからも続けてほしい。

年度目標

- 令和 6 年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」と回答する割合を 70%以上にする。

自己評価は、妥当である。

- ・地域や小・中学校ともに一年間を通して交流できた。
- ・交流を通して互いに刺激を受け学び合えるような内容を工夫し、幼・小・中の 3 つが繋がりをもった交流にしていきたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・ICT の使い方についても、工夫がみられるが教職員が正しい情報を捉えバージョンアップしていく必要がある。
- ・幼児期には実体験を大切にしながら、より生活が豊かになるような ICT の使い方をして欲しい。
- ・少人数だからこそその強みを生かし、教育内容の発信を行ってほしい。